

コロナ禍で変化した学生のスマホ活用と 今後の啓発活動

『学生のスマホ利用傾向調査レポート 2021年2月版』より

一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会
(JSSEC)

啓発事業部会 部会長 藤平武巳

概要

1. 最初に
2. アンケート結果
3. アンケートから見た今後の課題
4. まとめ

最初に

2020年4月に緊急事態が宣言され、社会人だけでなく、多くの学生にも影響

それにより、学生たちが使うスマートデバイスやアプリの利用においても影響が出たと想定し、JSSECでは2021年1月に調査を実施

- ・ 利用するアプリの変化
- ・ 行動の変化
- ・ 心理的な変化
- ・ その他

そこから分かった点を分析し、今後学生向けに必要な啓発活動の参考としたい

2021年1月 端末利用状況



スマホが普及し、多くの子ども達がスマホを利用する時代

	n	スマートフォン	フィーチャーフォン(ガラケー)	タブレット	いずれも利用していない
小学5年生	224	51.8%	25.4%	22.3%	25.9%
小学6年生	165	47.9%	24.2%	20.0%	25.5%
中学1年生	162	63.6%	27.2%	17.3%	16.0%
中学2年生	143	58.7%	23.1%	23.8%	16.8%
中学3年生	134	72.4%	16.4%	17.9%	12.7%
高校1年生	144	88.9%	13.9%	17.4%	2.1%
高校2年生	132	87.9%	15.2%	16.7%	0.8%
高校3年生	124	86.3%	15.3%	21.8%	4.0%
大学・短大1年生	114	86.8%	17.5%	18.4%	0.0%
大学・短大2年生	106	85.8%	18.9%	18.9%	0.9%
大学3年生	84	83.3%	23.8%	20.2%	0.0%
大学4年生	87	83.9%	23.0%	21.8%	0.0%

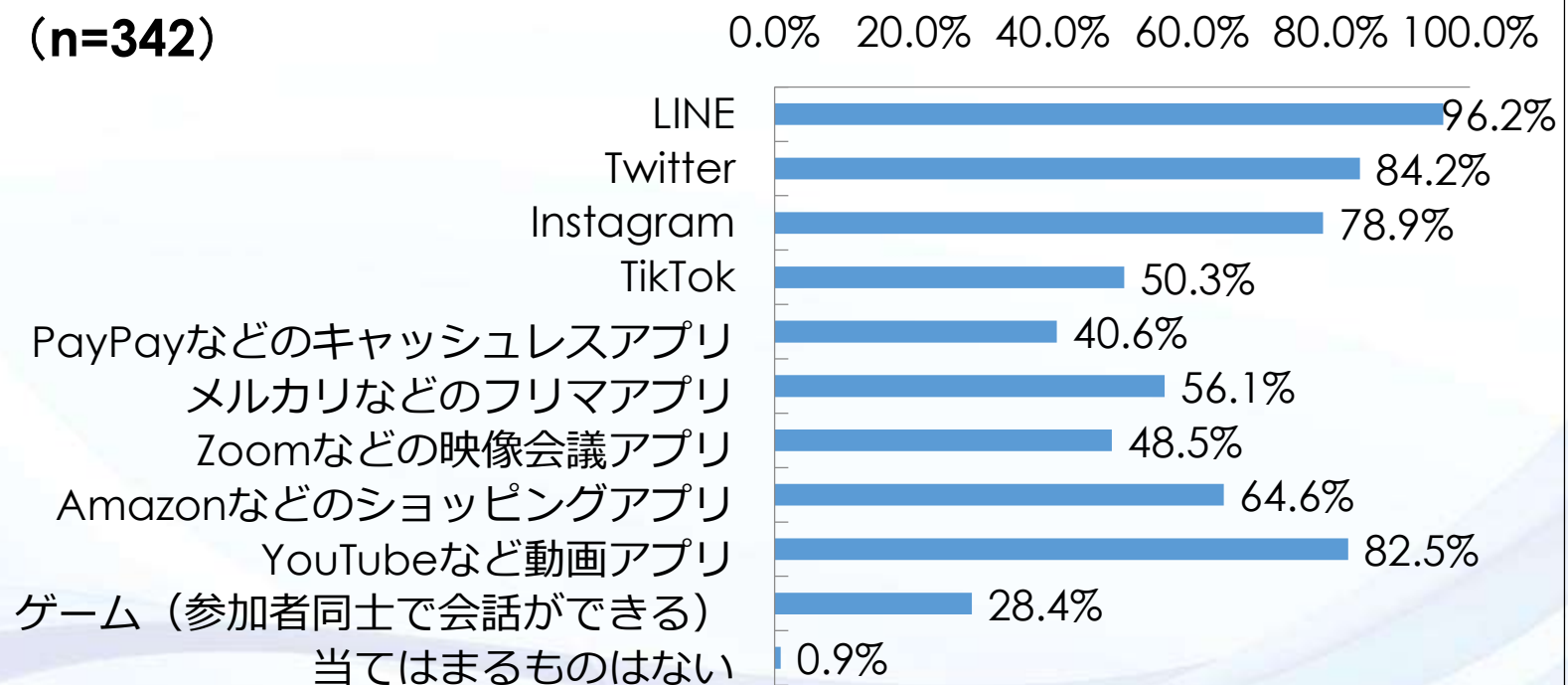
学生はどんなアプリを使っているか？



まずは、2021年1月現在で利用しているアプリを調査
SNS以外にもキャッシュレス・ショッピング・映像・会話型ゲームなど幅広いアプリを利用

以下のうち、あなたが今までに利用したことがあるものを全てお選びください

(n=342)

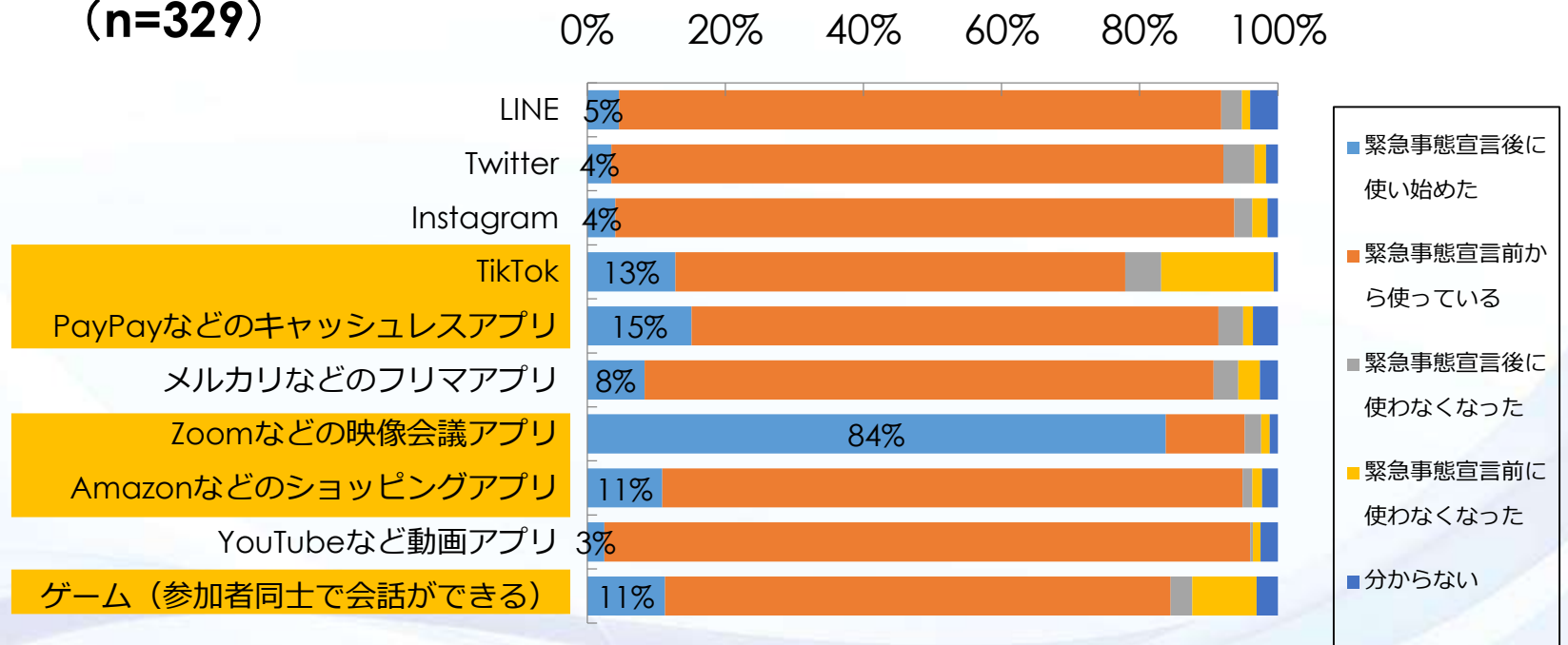


緊急事態宣言以降に開始したアプリは？

利用者のうち、Zoomなどの映像会議アプリは緊急事態宣言以降に開始した人が多くを占める。また、キャッシュレスアプリ、ショッピングアプリなど金銭を伴うアプリや、参加者同士で会話できるゲームの利用も1割以上が緊急事態宣言以降に利用を開始している

4月の緊急事態宣言の前と後で、以下の利用に変化があったかを教えてください

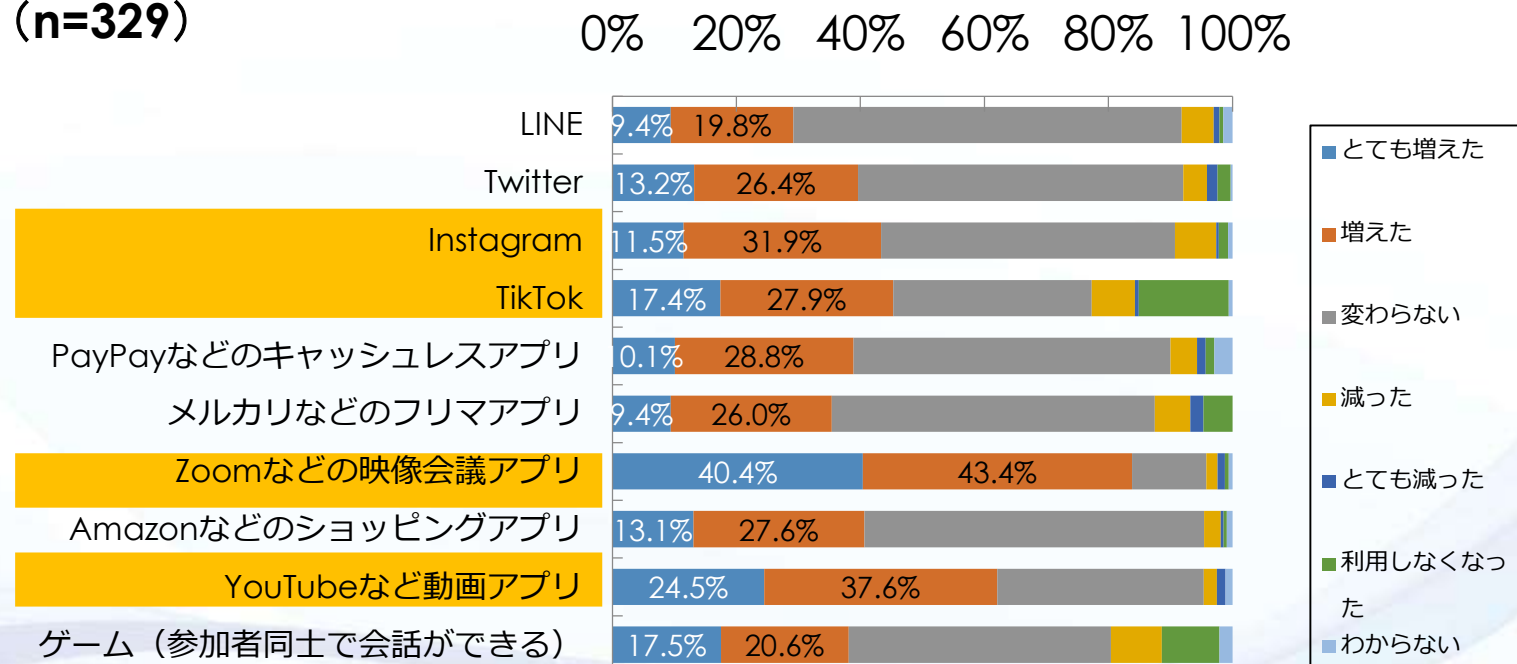
(n=329)



緊急事態宣言以降に利用が増えたアプリは？

どのアプリも、2割以上の人が「利用が増えた」と回答
とくに映像・動画アプリが、他よりも高い

4月の緊急事態宣言の前と後で、以下の利用に変化があったかを教えてください
(n=329)

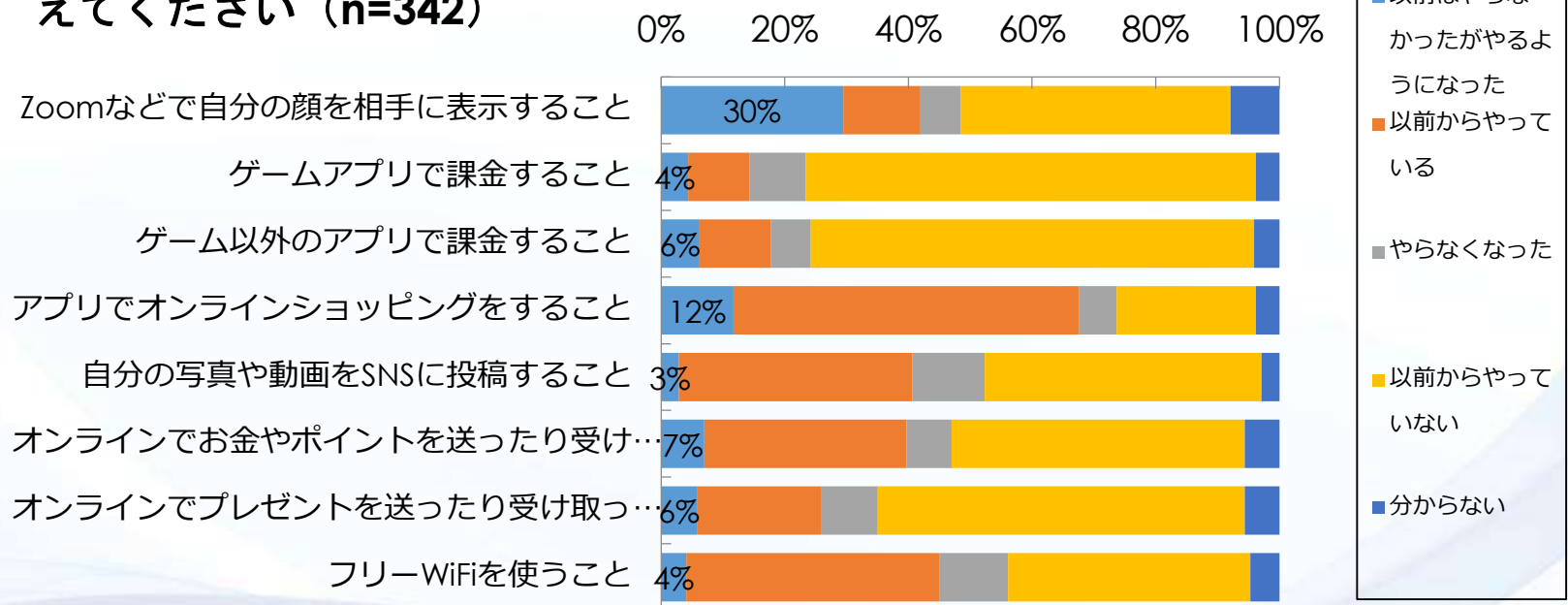


行動の変化



緊急事態宣言後の変化として、「自分の顔を相手に表示すること」
「アプリでオンラインショッピングをすること」が増えている

4月の緊急事態宣言の前と後で、以下の行動に変化があったかを教えてください (n=342)

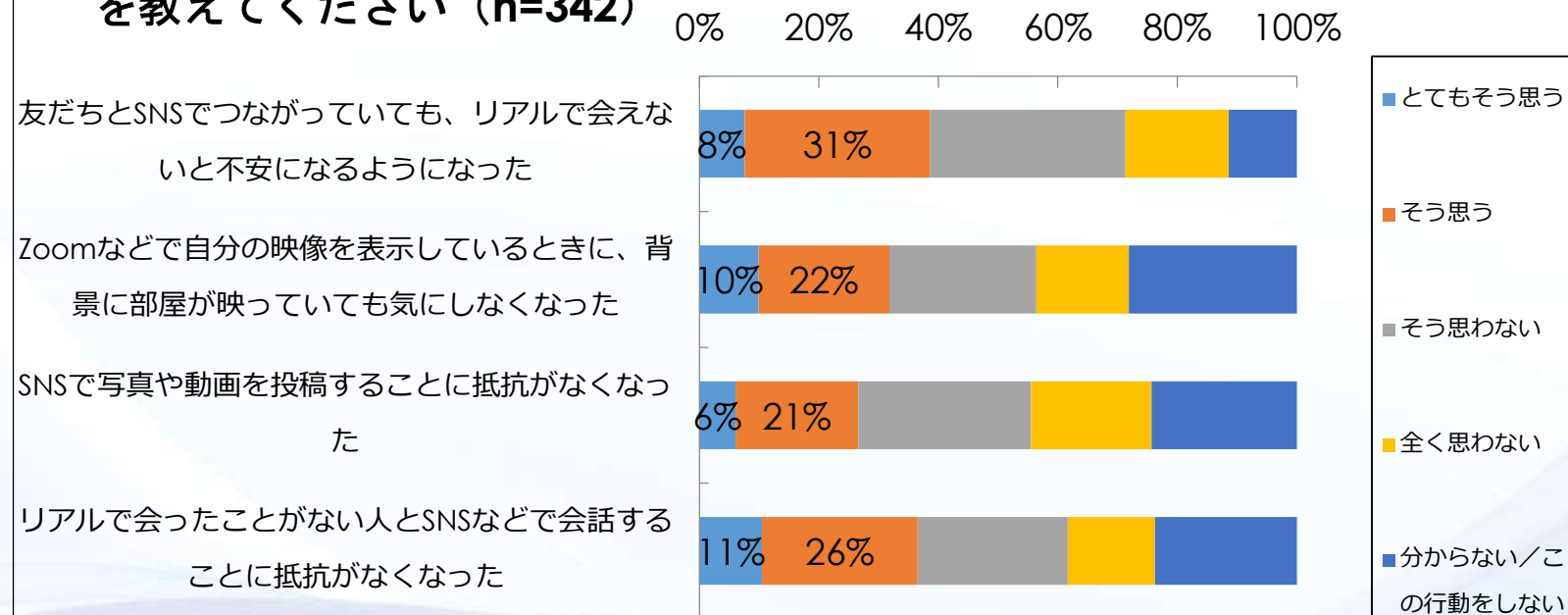


心理的な変化



リアルで会えない不安などの他、リアルで会ったことがない人とSNSで会話することに抵抗がなくなったり、SNSで写真や動画を投稿することに抵抗がなくなったりなどの変化が出ている

4月の緊急事態宣言の前と後で、以下の心理に変化があったかを教えてください (n=342)

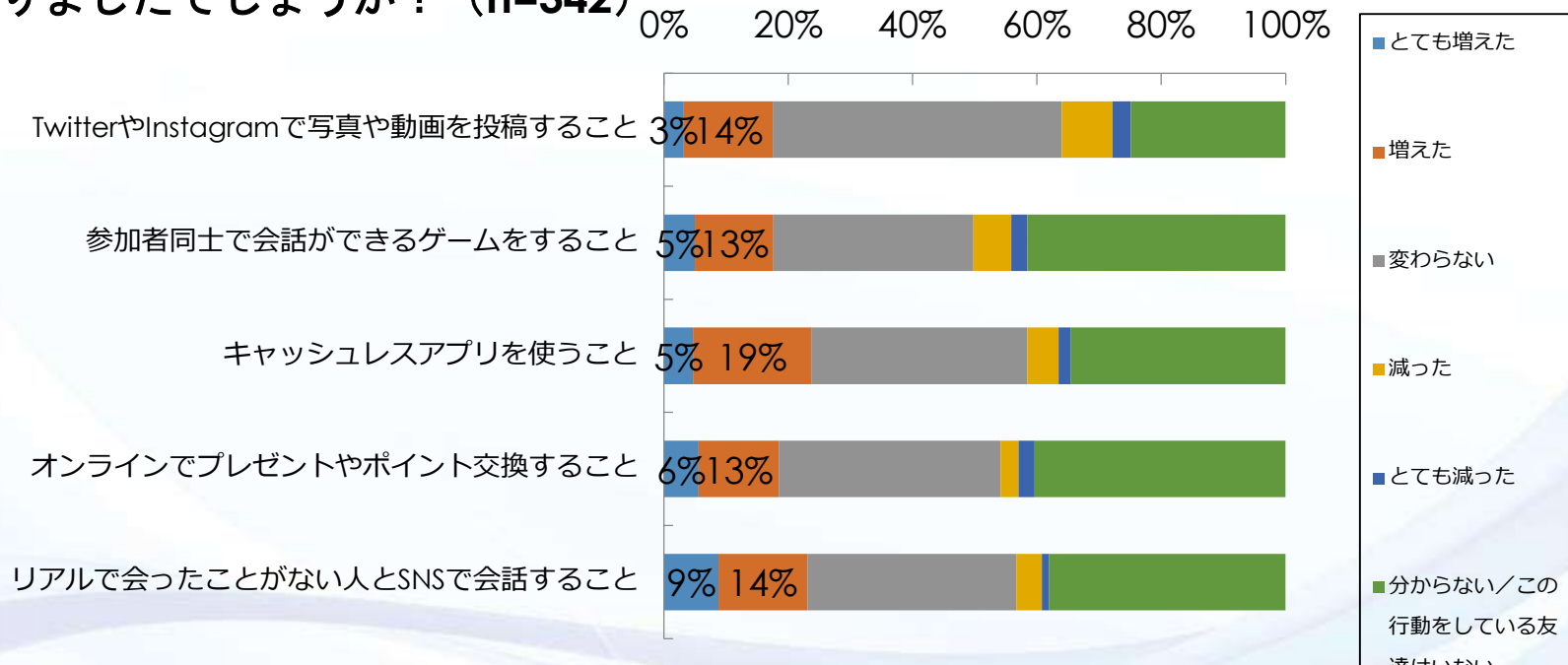


周囲の変化



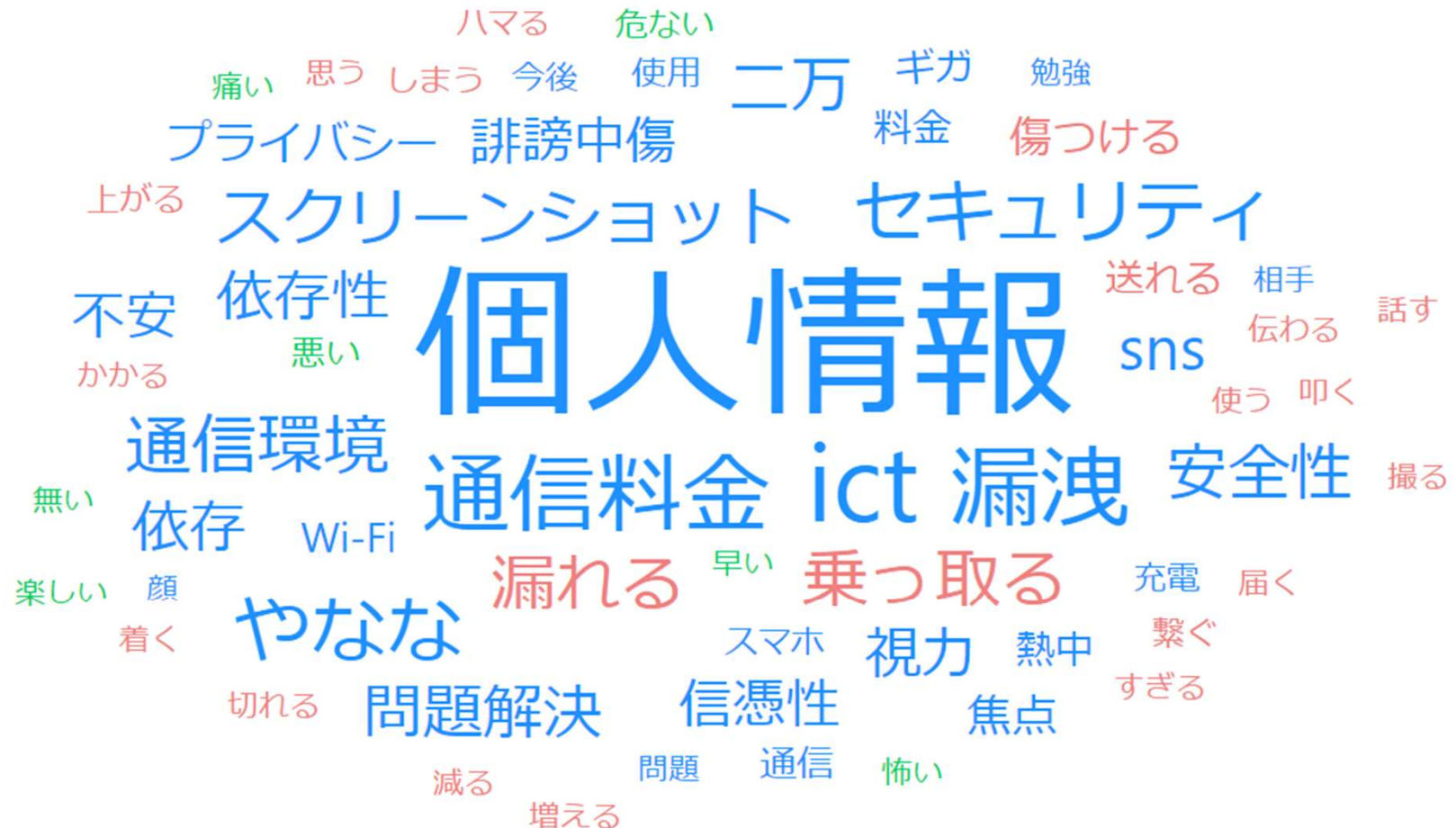
自分の周りでも、キャッシュレスアプリを使ったり、リアルで会ったことがない人とSNSで会話することが増えるなどの変化が表れている

4月の緊急事態宣言の前と後で、あなたの友達の行動に変化がありましたでしょうか？ (n=342)



[illegible]

コロナ禍において、スマートフォンやタブレットがあったことで、
利用に関して不安だった点（自由記述のテキストマイニング）



学生のスマートデバイス活用の推移と必要な啓発活動イメージ



学生のスマートデバイス活用が年々進化し、今回のコロナ禍でさらに大きく利用が進化
今までの啓発に加え、学生にも更なる情報セキュリティの啓発が必要と想定

利用方法・モラルの啓発

紛失・誤課金の防止、相手に不快な思いをさせない、犯罪に巻き込まれないなどの利用方法・モラルの啓発

情報保護の重要性の啓発

自分や周囲の人の大切な情報を守る、なりすまし被害を防ぐなど、情報保護の重要性の啓発

更なる情報セキュリティ啓発

フィッシングやサイバー攻撃対策など、更なる情報セキュリティの啓発

クローズドで、テキストやスタンプが中心のSNS

個人で楽しむゲーム

オープンで、画像や動画が中心のSNS

周囲と一緒に楽しむゲーム

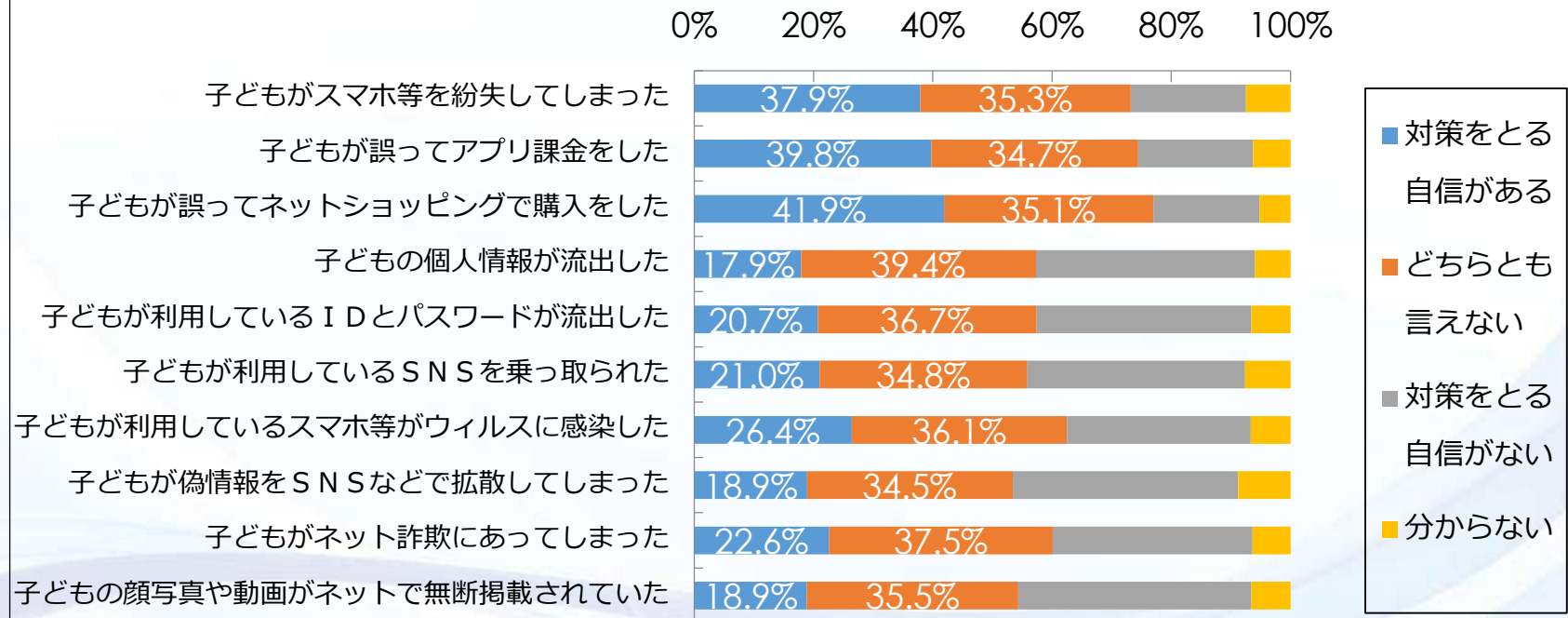
キャッシュレス・ショッピング

映像会議

リスクに対する保護者の対策自信度合い

紛失・誤課金などでは、対策に自信のある保護者の比率の方が多いが、情報流出や詐欺・乗っ取り対策では自信がない保護者が多い

お子様がスマートフォンやタブレット（以下スマホ等）を利用する上で、下記
の場合のあなたのリスク対策について教えてください。（n=747）



まとめ

- ・ 学生のスマホ利用も高度化
- ・ 学生向けの更なる情報セキュリティ啓発が必要
- ・ しかし、保護者だけでは困難
- ・ JSSECでは、保護者や学校、各種団体と協力して啓発活動を進めていきたい

例えば

各種講演や、学生の皆さんに分かりやすい情報フォーマットの提供など

区分	
最初に	個人情報とは？
	情報セキュリティがどうして必要なのか？
守るために	基本的な対策
	情報を渡してでも使いたいサービスか
	登録・利用時に必要な情報(提供する情報)は何か
	情報はどのように使われるのか？
	なりすまし・不正ログイン対策はされているか
	誤って漏らさない
もし流出したら	サービス提供会社から流出
	自分や友達・家族から流出
	情報の保護・被害拡大を防ぐ
被害対策	なりすましに対して
	法的トラブルに対して
	その他

最後に

JSSECでは、引き続き啓発事業に必要な調査や取り組みを進めていきます。

ぜひ、JSSECのWebページをご参照ください

<https://www.jssec.org/>

JSSEC

検索



また、一緒に活動いただける会員企業も募集しております。
ぜひご検討をよろしくお願いいたします。

ありがとうございました